

打越奎也くん角界での活躍誓う



町出身で、小・中学校と全国制覇を何度も成し遂げ、昨年春に三本木農業高に進んだ打越奎也くんが、このほど大相撲の世界に行くことが決まり、その記者会見が12月17日(月)パルナスで行われました。

会見前、町長に伝えようと、打越くんとおおのまつと阿武松親方(元関脇・益荒雄)が役場を訪れ、大相撲入りを報告。町長は「稽古は厳しいと思うが、親方のいうことを聞いてがんばってほしい」と激励しました。

その後開かれた記者会見には、打越くん、阿武松親方、小野町長の3人が出席。7社が集まる会見場で、打越くんと親方が報道陣の質問に答えました。

打越くんは、阿武松部屋入門を選んだ



経緯について「親方の厳しき、相撲に対する考え方に共感した」といい、また親方も「打越くんが小学校2年の頃から見てきた」と、以前から注目していた逸材であることを強調。目標とする力士を聞かれたときには「あまりそういうのはない。自分がみんなから目標にされる力士になりたい」と答え、大相撲入りへの決意を表明しました。

会見を終えた阿武松親方に「横綱になりますか?」と聞いたところ、「頂点を目指すという心が大切。日本人の力士として、一番を目指して指導していく」と力強い宣言をいただきました。

打越くんは、新弟子検査に合格すれば、1月場所前相撲に出場し、3月場所には序の口からプロデビューする予定です。今後の活躍が期待されます。

町商工会移転オープン

11月27日(火)から
旧青い森信金中里支店で



町商工会が、旧青い森信用金庫中里支店に移転し、10月27日(火)にオープンしました。以前の商工会館より広く、また補修によって内装も明るくなり、気軽に訪れやすい雰囲気になっています。

広報10月号で紹介しているとおり、今回の移転は、同信金が町に支店を無償譲渡したことから、町が商工会に貸し付けて実現したものです。下山事務局長は「環境がよくなったせいか、職員の意気も上がっている。今まで以上に、会員や町のためにがんばりたい」と、心機一転の心境を話していました。

- 移転先……中泊町大字中里字亀山443番地(旧青い森信用金庫中里支店)
- 電話番号など……以前と変わりません(☎ 57-2733 FAX 57-2803)

